

今週の主な動向

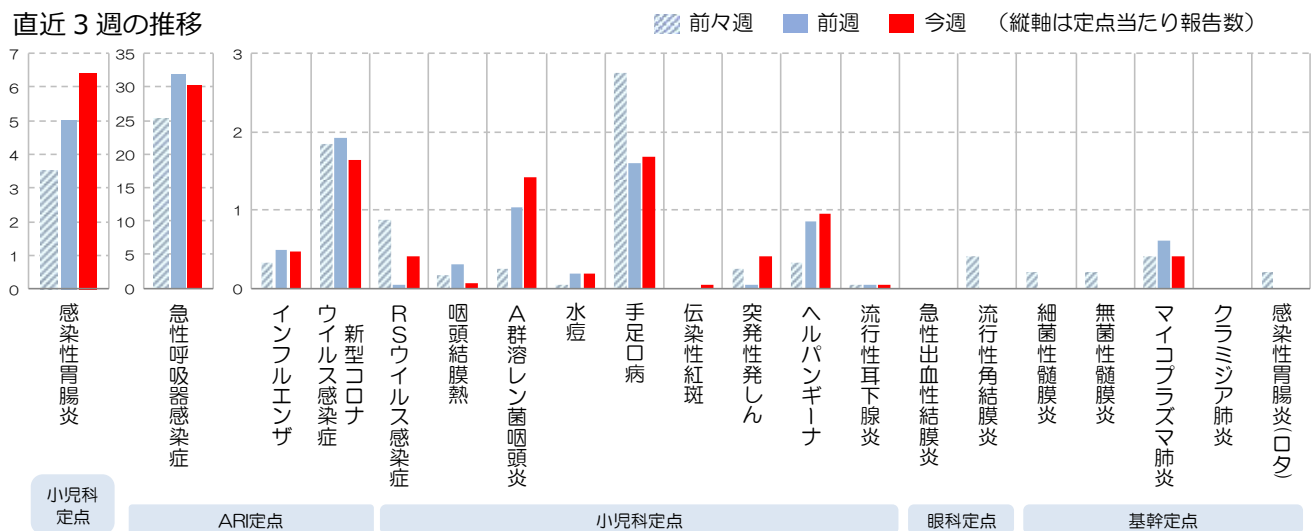
- 感染性胃腸炎の患者報告数が 2 週連続で増加していますので、注意が必要です。
- 手足口病の患者報告数は、県全体では警報レベル※を下回っていますが、地域によっては警報レベルの流行が続いていますので、引き続き感染予防対策を徹底しましょう。
- 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)と日本紅斑熱の患者報告が各 1 例ありました。野外活動を行う際にはダニにさされないよう十分な対策をしましょう。

※手足口病の警報レベルは、開始基準値が定点当たり患者報告数 5 人、終息基準値が 2 人

定点把握対象疾患

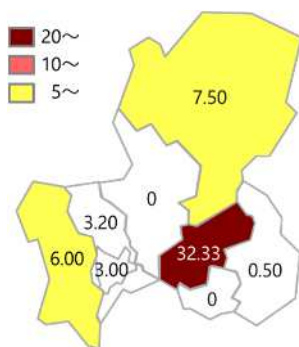
<ARI 定点：45 か所、小児科定点：27 か所眼科定点： 11 か所、基幹定点：5 か所>

● 直近 3 週の推移

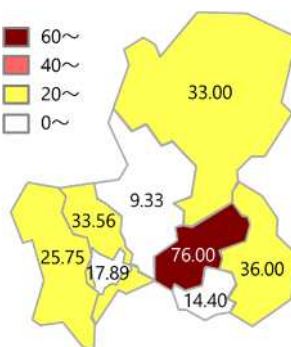


● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

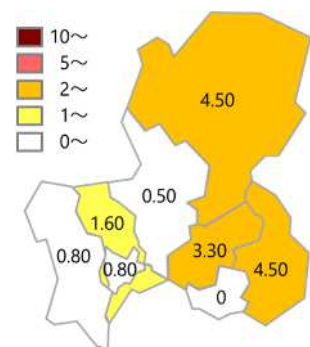
<感染性胃腸炎>



<急性呼吸器感染症（ARI）>



<手足口病>



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 4 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 4 例
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 1 例、日本紅斑熱 1 例
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 例、梅毒 4 例

今年になって SFTS は 3 例目、日本紅斑熱は 5 例目の報告です。いずれも、SFTS は東濃圏域、日本紅斑熱は岐阜圏域からの報告で、庭仕事や草刈り作業中の感染が推定されています。

予防対策：「岐阜感染症かわら版（2027 年 2 月 27 日発行）～屋外活動時には「マダニ」対策を～」
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/487155.pdf>